

平成 31 年度

新入学児童・園児を交通事故から守る運動

神奈川県実施要綱

期 間

平成 31 年 4 月 5 日（金）～ 4 月 11 日（木）の 7 日間

目 的

県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、新入学児童・園児を交通事故から守り、交通ルールとマナーの基本を身につけさせることで、交通事故防止の徹底を図ります。

スローガン

新入学児童・園児を交通事故から守ろう

重 点

- 1 新入学児童・園児の交通事故防止
- 2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 3 横断歩道における歩行者優先の徹底



横須賀市交通安全ポスターコンクール入賞作品
横須賀市立汐入小学校 1 年（入賞当時）安藤 莉那

主唱：神奈川県交通安全対策協議会

運動の重点

1 新入学児童・園児の交通事故防止

- 新入学児童・園児への交通安全指導を家庭・地域で徹底しましょう。
- 周囲の大人が、子どもの行動特性を十分理解して行動することにより、新入学児童・園児を交通事故から守りましょう。
- 通学・通園路の交通上危険な箇所を把握し、通行方法等を確認しましょう。

2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

- 自動車に乗車するときは、全ての座席のシートベルトやチャイルドシート着用の「ひとこえ」をかけ合しましょう。
- 全ての座席のシートベルトやチャイルドシートの必要性について正しく理解し、チャイルドシートの正しい取り付け方を徹底しましょう。

3 横断歩道における歩行者優先の徹底

- 運転者は、横断歩道等を渡ろうとしている歩行者等がいる場合には、必ず一時停止し、安全に横断させましょう。
- 運転者は、歩行者等に気がつきやすいように、夕暮れ時早めに前照灯を点灯しましょう。

運動の進め方

☆ 神奈川県交通安全対策協議会構成機関・団体が共通して推進する事項

- 「運動の重点」と「重点の取組み方」に基づき、それぞれの地域等の実態に即した各種交通安全活動を積極的に推進します。
- 関係機関・団体の職員等に、この運動について周知を図ります。
- 各種会議、行事を通じて、この運動の趣旨を積極的に周知するとともに、広報紙(誌)を発行するときは、努めて交通ルールの遵守とマナーの向上を呼びかける記事等の掲載に努めます。

☆ 交通安全協会など交通関係団体及び地域関係団体の推進する事項

- キャンペーンやイベントなどの開催により、運動への参加・協力を呼びかけるほか、地域や職場等での自主的な活動や交通安全講習会への積極的な参加を働きかけます。
- 交通指導員や各種団体構成員による街角での新入学児童・園児の交通誘導とアドバイスを積極的に実施し、「交通安全ひとこえ運動」を推進します。

☆ 教育機関・団体の推進する事項

- 新入学児童・園児への交通安全教育の推進を図るとともに、校外指導を充実します。
- 家庭との連携を密にして、登下校時及び帰宅時の交通事故防止を図ります。

☆ 道路管理者・鉄道事業者等の推進する事項

- 交通安全施設の点検整備を実施するとともに、道路パトロールなどを強化します。
- 道路情報板、駅広報、車内広報などを活用して、この運動の周知と交通安全の啓発を推進します。

☆ 警察の推進する事項

- 交通事故に直結する悪質・危険性、迷惑性の高い違反やスクールゾーン等を中心とする指導取締りを強化します。
- 新入学児童・園児を中心とした街角アドバイスを積極的に推進します。
- 関係機関・団体へ交通事故分析資料等を積極的に提供し、地域実態に対応した事故防止活動を推進します。
- 交通情報板などを活用して、この運動の周知と交通安全の啓発を推進します。

☆ 県・市・区・町・村の推進する事項

- 地域の交通事故実態に即した交通安全運動の推進計画等を策定するとともに、関係機関・団体との連携を密にして、この運動を推進します。
- 各種メディアを活用して、運動の周知と広報啓発を推進します。
- 参加体験型の交通安全教室を開催し、効果的な交通安全教育を推進します。

☆ 重点の取組み方

	新入学児童・園児の 交通事故防止	全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底	横断歩道における歩行者優先の徹底
家庭では	<p>○ 出のよ 方方一え ・危なさ</p> <p>○ シートベルト着用を徹底する</p> <p>○ 安全な歩行方法を指導する</p> <p>○ 交通安全に関する啓発活動を行う</p>	<p>○ シートベルト着用を徹底する</p> <p>○ チャイルドシートの正しい着用を指導する</p> <p>○ 安全な歩行方法を指導する</p>	<p>○ 横断歩道を渡る際は、左右を確認してから歩行する</p> <p>○ 歩行者優先の意識を徹底する</p> <p>○ 歩行者の安全確保を徹底する</p>
職場では	<p>○ 交通安全に関する啓発活動を行う</p> <p>○ 安全な歩行方法を指導する</p> <p>○ 交通安全に関する啓発活動を行う</p>	<p>○ シートベルト着用を徹底する</p> <p>○ チャイルドシートの正しい着用を指導する</p> <p>○ 安全な歩行方法を指導する</p>	<p>○ 横断歩道を渡る際は、左右を確認してから歩行する</p> <p>○ 歩行者優先の意識を徹底する</p> <p>○ 歩行者の安全確保を徹底する</p>
学校・地域では	<p>○ 交通安全に関する啓発活動を行う</p> <p>○ 安全な歩行方法を指導する</p> <p>○ 交通安全に関する啓発活動を行う</p>	<p>○ シートベルト着用を徹底する</p> <p>○ チャイルドシートの正しい着用を指導する</p> <p>○ 安全な歩行方法を指導する</p>	<p>○ 横断歩道を渡る際は、左右を確認してから歩行する</p> <p>○ 歩行者優先の意識を徹底する</p> <p>○ 歩行者の安全確保を徹底する</p>
運転者などは	<p>○ 交通安全に関する啓発活動を行う</p> <p>○ 安全な歩行方法を指導する</p> <p>○ 交通安全に関する啓発活動を行う</p>	<p>○ シートベルト着用を徹底する</p> <p>○ チャイルドシートの正しい着用を指導する</p> <p>○ 安全な歩行方法を指導する</p>	<p>○ 横断歩道を渡る際は、左右を確認してから歩行する</p> <p>○ 歩行者優先の意識を徹底する</p> <p>○ 歩行者の安全確保を徹底する</p>

<交通安全スローガン>

安全は 心と時間の ゆとりから

[毎月「1日」は県民交通安全の日]

[毎月「15日」は高齢者交通安全の日]

★ 子供の交通事故発生状況

○年別推移（子供の交通事故：中学生以下の子供が関係した事故と子供の死傷者数）

項目	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
発生件数	2,392	2,196	2,254	1,987
死傷者数	2,599	2,433	2,480	2,154

○幼稚園児と小学生の学年・状態別の死傷者数（平成 30 年中）

項目	幼児	園児	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計
歩行中	49	87	111	105	91	68	42	32	585
自転車乗用中	52	82	50	67	83	89	74	83	580
その他	177	135	48	51	52	36	50	44	593
計	278	304	209	223	226	193	166	159	1,758

○幼稚園児と小学生の状態別・原因別の死傷者数（平成 30 年中）
（歩行中）

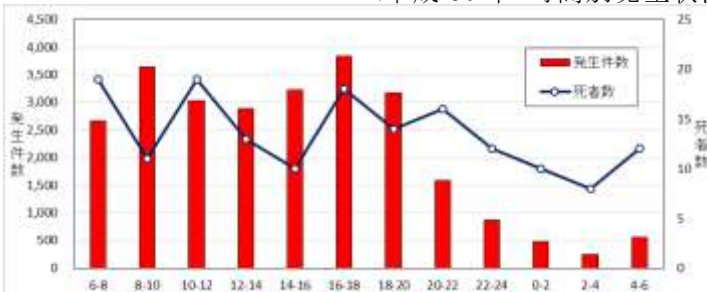
原因	死者数	構成率	負傷者数	構成率
飛び出し	0	0.0%	192	32.9%
車の直前直後横断	1	100.0%	10	1.7%
横断歩道外横断	0	0.0%	40	6.8%
ひとり歩き	0	0.0%	17	2.9%
その他の違反	0	0.0%	48	8.2%
違反なし	0	0.0%	277	47.4%
計	1	100.0%	584	100.0%

（自転車乗用中）

原因	死者数	構成率	負傷者数	構成率
安全不確認	0	0.0%	44	7.6%
一時不停止等	0	0.0%	76	13.1%
信号無視	0	0.0%	7	1.2%
その他の違反	0	0.0%	208	35.9%
違反なし	1	100.0%	244	42.1%
計	1	100.0%	579	100.0%

～夕暮れ時の前照灯 早目点灯 事故防止！～
日没 1 時間前には点灯しましょう

＜平成 30 年 時間別発生状況＞（県警察本部資料）



- 夕暮れ時は人身交通事故の多発する時間帯です。
- 前照灯を点灯することにより、周囲から自分の存在を早めに気づいてもらえます。
- 前照灯のスイッチを入れることにより、交通安全意識が高まります。

時間帯	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	0-2	2-4	4-6
発生件数	2,662	3,640	3,035	2,886	3,229	3,844	3,175	1,592	864	479	246	560
死者数	19	11	19	13	10	18	14	16	12	10	8	12



神奈川県交通安全シンボルマーク

神奈川県交通安全対策協議会
神奈川県・市区町村・神奈川県警察
事務局 神奈川県 暮らし安全交通課
TEL 045-210-1111
(内線 3553)